

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公開番号】特開 2020-203165 (P2020-203165A)

【公開日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-052

【出願番号】特願 2020-162833 (P2020-162833)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを予告表示により予告する予告手段と、
前記予告表示の表示態様を第 1 態様にて表示することが可能な第 1 態様表示手段と、
前記第 1 態様の前記予告表示を、第 2 態様へと変化させることが可能な第 2 態様変化手
段と、

前記第 1 態様から前記第 2 態様へと変化することを示唆する示唆演出を複数の開始タイ
ミングで実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

を備え、

前記予告表示は、

前記第 1 態様にて第 1 期間表示された場合よりも、前記第 1 態様にて前記第 1 期間よ
りも長い第 2 期間表示された場合の方が前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記第 1 態様にて表示されているときに、継続して第 1 動作をする態様にて表示され
、

前記示唆演出が実行されるときに、表示態様が前記第 1 態様から前記第 2 態様へと変
化し、再度前記第 1 態様へと変化した後に前記第 2 態様へと変化する場合があり、

前記第 2 態様にて表示されているときに、前記第 1 動作とは異なる第 2 動作をする態
様にて表示され、

前記予告表示とは異なり前記予告表示が前記第 2 態様へと変化した後に再度前記第 1 態
様にて表示されたことを示唆可能な数値表示を実行可能な数値表示実行手段をさらに備え
る、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御されることを予告表示により予告する予告手段と、
前記予告表示の表示態様を第１態様にて表示することが可能な第１態様表示手段と、
前記第１態様の前記予告表示を、第２態様へと変化させることが可能な第２態様変化手
段と、

前記第１態様から前記第２態様へと変化することを示唆する示唆演出を複数の開始タイ
ミングで実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記予告表示は、

前記第１態様にて第１期間表示された場合よりも、前記第１態様にて前記第１期間よ
りも長い第２期間表示された場合の方が前記有利状態に制御される期待度が高く、

前記第１態様にて表示されているときに、継続して第１動作をする態様にて表示され
る、

前記示唆演出が実行されるときに、表示態様が前記第１態様から前記第２態様へと変
化し、再度前記第１態様へと変化した後前記第２態様へと変化する場合があり、

前記第２態様にて表示されているときに、前記第１動作とは異なる第２動作をする態
様にて表示され、

前記予告表示とは異なり前記予告表示が前記第２態様へと変化した後再度前記第１態
様にて表示されたことを示唆可能な数値表示を実行可能な数値表示実行手段をさらに備え
る、

ことを特徴とする。

(Ａ) 他の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（大当たり遊技状態等）に制御可能な遊技機（パチンコ遊
技機１等）であって、

前記有利状態に制御されることを予告表示（アクティブ表示１８３Ｆ００１等）により
予告する予告手段（演出制御用ＣＰＵ１２０等）と、

前記予告表示の表示態様を特殊態様（特殊表示１８３Ｆ００２等）にて表示することが
可能な特殊態様表示手段（演出制御用ＣＰＵ１２０等）と、

前記予告表示の表示態様を前記特殊態様にて表示した後に、特別態様（特別表示１８３
Ｆ００５等）へと変化させることが可能な特別態様変化手段（演出制御用ＣＰＵ１２０等
）とを備え、

前記予告表示は、前記特殊態様を第１期間維持した場合よりも前記特殊態様を前記第１
期間よりも長い第２期間維持した場合の方が前記有利状態に制御される期待度が高く設定
され（図２０に示すように、示唆演出１回目で特別表示１８３Ｆ００５となるよりも示唆
演出３回目で特別表示１８３Ｆ００５となる方が期待度が高い態様となる等）、

前記特殊態様から前記特別態様へと変化することを示唆する示唆演出を複数のタイミン
グで実行可能な示唆演出実行手段（図２０（ｃ）、（ｆ）、（ｇ）に示すように、演出制
御用ＣＰＵ１２０が、示唆演出を複数のタイミングで実行する等）をさらに備える。